

康運動指導士、診療情報管理士など、民間の団体などの認定による多数の職種が従事しているが、これらの職種に医療行為は認められていない。

## B 医療機関でのチーム医療・多職種連携

以前は、1人の医師が中心となり、診療を行っていた。しかし、医療が高度化し、さらにそれが複雑化してきたことで、業務が拡大・煩雑化し、医療現場、とくに病院では、チーム医療が必要不可欠となっている。チーム医療は、多種多様な医療スタッフが、おのおのの高い専門性を前提とし、目的と情報を共有し、業務を分担するとともに互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供するものである。

チーム医療は、院内での横断的な取り組みとして、医科疾患の場合は医師が、歯科疾患の場合は歯科医師が中心となり、複数の医療スタッフが連携して患者の治療にあたるが、医科疾患で入院している場合においても歯科が参加する機会が増えている。

また、歯科医療を行う際、診療は歯科医師と歯科衛生士と歯科技工士の三者が互いに連携することになり、疾患により、医師、看護師、言語聴覚士などと協力して治療にあたる場合もある。それぞれ役割の分担があり、互いに連携することによりチーム医療を行うこととなる。

具体的な医療チームの例として、NST（栄養サポートチーム）、ICT（感染制御チーム）、RST（呼吸サポートチーム）などがある。

一方、多職種連携（IPW）とは、異なる専門職からなるチームメンバー、または異なる機関・施設が、介護サービス利用者（患者・家族）の利益を第一に、総合的・包括的な保健医療福祉ケアを提供するために、相互尊重、互恵関係による協働実践を行うこと、またその方法・過程と定義されている。医師、看護職、リハビリテーション専門職、医療ソーシャルワーカー等の医療従事者のみならず、介護支援専門員や地域包括支援センター、社会福祉機関の職員、介護保険施設の職員、民生委員、NPO法人の職員、自治会などの地域支援者等在宅サービスにかかわる人達が、1人のサービス利用者に対応する場合の連携をさす。多職種の間で異なる価値観やさまざまな考え方を知ることができ、他職種の視点での考えや判断について理解を求めることが肝要である。

また、患者および利用者等ならびにその家族の希望をチーム全員で理解し、サービスを受ける患者および利用者等が中心であることを認識する必要がある。そのうえで、チーム内でそれぞれの職種が行うべきことを検討し、専門性を発揮しながら他職種と協働していくことが重要である。

### Side memo

ICT  
Infection Control Team

RST  
Respiratory Support Team

IPW  
Interprofessional Work

歯科と関係が深い医療従事者の法律  
6章（p. 113）参照。

福祉・介護専門職種  
9章（p. 199）参照。

## 1. 歯科が参加する医療機関内チーム医療・多職種連携

### (1) 栄養サポートチーム（NST）

食欲低下や栄養状態の悪い患者に対し、適切な栄養管理を行い、全身状態の改善、合併症の予防を目指すことを目的に構成されたチームである。これにより、患者の生活の質の向上、原疾患の治療促進および感染症等の合併症を予防し、早期退院に結びつけることができる。

#### ●チーム構成

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、作業療法士、理学療法士、臨床検査技師、歯科医師、歯科衛生士など。

- ・歯科医師：口腔機能に問題がある場合に口腔内疾患および機能診断を実施する。
- ・歯科衛生士：口腔内清掃状態のチェック、義歯、かみ合わせの状態評価、口腔機能管理を実践する。

### (2) 周術期（集中治療）チーム

集中治療対象患者は、重症疾患を有し、心臓・腎臓・肝臓・呼吸機能など、さまざまな臓器機能が低下している。年々治療法が進歩していくなかで、薬剤の多種併用、患者の状態に応じた時間単位のきめ細かな投与薬剤・投与量の設定、さまざまな医療機器の使用など、各職種の医療スタッフがチームを組み、その専門性をもって治療の質、安全性の向上を図り、質の高い安全な集中治療を可能とすることを目的とする。

#### ●チーム構成

医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、言語聴覚士、歯科医師、歯科衛生士など。

- ・歯科医師：術前から退院までの患者の口腔衛生管理の指示を歯科衛生士、看護師に行い、医師と協働し、摂食・嚥下機能評価や各検査を行い、カンファレンスを開催する。
- ・歯科衛生士：歯科医師の指示のもと、入院食の変更や調整を行う。

### (3) 口腔ケアチーム

口腔衛生管理が必要な患者に多職種と周術期管理を実践し、誤嚥性肺炎や窒息事故等の発生を防止し、経口摂取を早めて患者の回復と医療の円滑化を図ることを目的とする。また、入院中の口腔衛生管理を退院後の在宅療養における地域連携パスで地域連携チームや地域の診療所につなぐことで継続した一貫性のあるケアがシームレスで提供できる。

NST  
Nutrition Support Team

周術期  
周術期とは、術中だけでなく、外来で手術が決定した時点から入院、術前、術後の期間を含め、退院までをさすことが多い。  
周術期等口腔機能管理においては、退院後も含めた期間を対象としている。